

## 第9回 芹川川づくり会議 報告

平成19年8月5日(日)

13:00~16:30

ひこね燦ばれす 1階多目的ホール

### 1. 開会

去る8月5日(日)に第9回芹川川づくり会議を開催いたしました。夏休みの行事などでご多用のところ、24名の方にご参加頂き誠にありがとうございました。



### 2. 資料説明

芹川川づくり会議は、平成13年6月から平成14年10月の第1回から第6回会議に引き続き、今年2月25日の第7回会議、6月3日の「嘉田知事との意見交換会」そして6月10日の第8回会議を開催し、芹川の治水対策としての芹谷ダム計画(支川・水谷川に予定中の河床部に穴のあいた流水ダム)について多くのご意見・ご質問を頂いてきました。

今回の会議では、これまでの経過を踏まえつつ、さらに議論を深めるとともに、初めて参加される方にもこれまでの経過や課題などへのご理解や共通認識を深めていただくために、意見交換に入る前に、「これまでの芹川川づくり会議 問答集(資料1)」「一級河川芹川の治水の考え方(資料2)」「芹谷ダムの補足説明(資料3)」の3点について滋賀県から説明させて頂きました。

#### 前回会議までの質問に対する回答(湖東地域振興局、河川開発課、河港課より説明)

これまで芹川川づくり会議では、参加者の皆さんから色々なご質問を頂いてきました。滋賀県では、これらの質疑応答の結果を「これまでの芹川川づくり会議 問答集」にまとめています。今回の会議ではこのうち前回(第8回会議)でお答えできなかったご質問を中心に回答させて頂きました。

芹川の川づくりについては多くの方々に関心を持って頂いておりますので、「これまでの芹川川づくり会議 問答集」は、下記の滋賀県HPでも公表しています。

(<http://www.pref.shiga.jp/h/h-doboku/02backnumber/serikawa/kawadukurimontoushu.pdf>)

#### 芹川の治水対策の考え方(湖東地域振興局より説明)



これまでから川づくり会議で、芹川の治水対策としては「ダム+河川改修」が最も有利であると提案してきました。しかし、ダムと河川改修による組み合わせや堤防補強などにご意見・ご質問を多く頂いています。

このため、改めて堤防の安全性の確保、河川の拡幅や河床掘削による河川改修、ダムや遊水池の実現性等について、各々の課題や考え方を検討した結果を、ご説明させて頂きました。

### 芹谷ダムの補足説明（河川開発課より説明）

支川・水谷川に予定しています芹谷ダムにつきましては、治水への関心が高まるにつれて様々な意見が出てきています。これまでの第7回、第8回の参加者からも、洪水時に発生する流木への対策や洪水時に芹川上流から洪水流を導く分水トンネルの構造など、色々な意見が述べられてきました。

このため、河床部に穴のあいた流水ダムである芹谷ダムと従来の貯水ダムの比較や、芹谷ダムの形状や貯留量、分水トンネルの呑み口と吐き口の様子などとともに、流水型ダムの実施例と、そこで実施されてきた流木対策などについてご説明させて頂きました。

### 4．全体討論（質疑応答・意見交換）

当初はグループ毎に分かれて質疑応答や意見交換を行う予定でしたが、初めて参加された方から「急には専門的な内容には入っていけない」といったご意見があり、また「他の人の意見を聞きながら自分の考えを整理したい」というご発言をいただいたことから全体討論方式での質疑応答と意見交換を行いました。

初めて参加された方が4割ほどおられましたが、そうした方々からも積極的なご発言を頂きました。ご質問の多くは芹谷ダムの事業計画や経済効果に関するものであり、ダムの治水効果についての数値や算出根拠を確認するご質問も頂きました。また、河道掘削の課題についての具体的根拠やダムが環境に及ぼす影響についてもご質問をいただきました。次に、ご意見としては、1)ダム建設費について多くの費用が必要であり、しっかりと議論すべき、2)河川の維持管理によって当面の安心を確保すべきだ、3)市民と行政の協働（ボランティア）による経費のかからない河川管理の提案、4)市民はもっと芹谷ダムのことを考えねばならない、5)住民主体の川づくり会議を開催したい、など多くのご意見を頂戴しました。今回頂きましたご意見・ご質問は、これまでの会議結果と同様に芹川の川づくりへ反映させて頂きます。



### 5．閉会

熱心な意見交換でしたが、ほぼ当初の会議終了予定時刻に会議を終えることができました。

次回の開催につきましては、早期開催のご要望も頂きましたが、現在、滋賀県では財政改革に関する見直し作業を進めており、財政改革の一定の方向性が明らかになった時点で開催させて頂きたいと考えています。